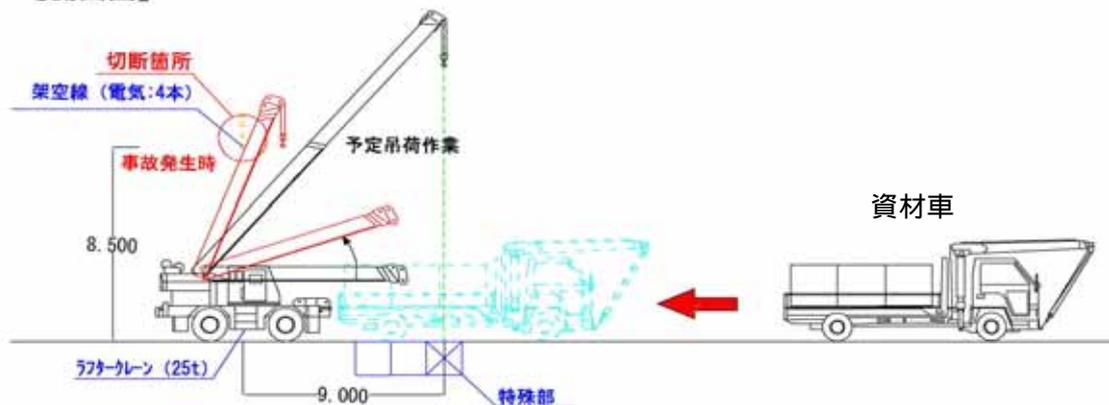


発生日時	平成 22年 5月 14日 (金) 15時 50分			天候	曇
工事情報	道路系事務所 As舗装工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	架空線切断	
事故概要	電線共同溝工事にてラフタークレーン(25t)を設置し、ブームを上げウインチを巻き上げた際に、架空線に接触し切断したもの。				

事故発生状況

【側面図】



・電線共同溝の特殊部設置作業を行っていた。

・バックしてきた資材車にあたると思い、必要以上にブームを起こしてしまったため、架空線に接触し、巻き上げ作業と同時に切断した。

【事故発生原因】

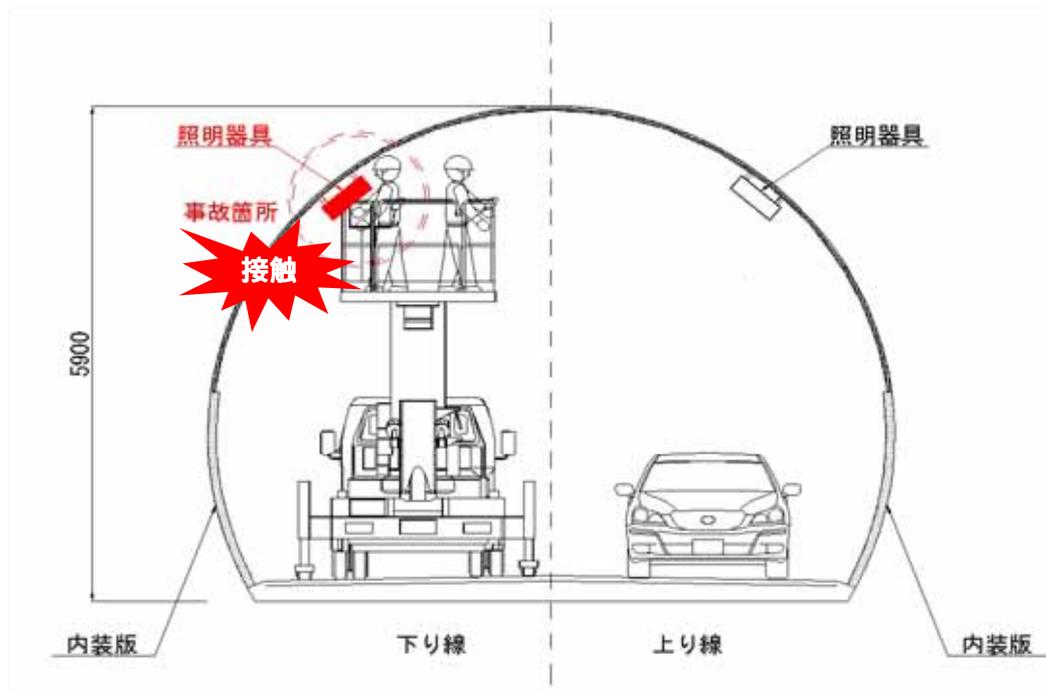
・誘導合図なしでオペレータが独断でクレーンのブームを動かしてしまったこと。

【事故防止のポイント】

・合図者・オペレータ間の合図や誘導方法の事前確認。
 ・架空線近接箇所における作業方法の周知徹底。 など

発生日時	平成 22 年 5 月 17 日 (月) 10 時 20 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 維持修繕工事		
被災の状況	性別	年齢	職種
	-	-	-
事故概要	トンネル照明灯に接触し損傷させたもの。		
	トンネル点検車にてトンネル内の事前調査を行っていたところ、トンネル照明灯に接触し損傷させたもの。		

事故発生状況



損傷状況

【事故発生原因】

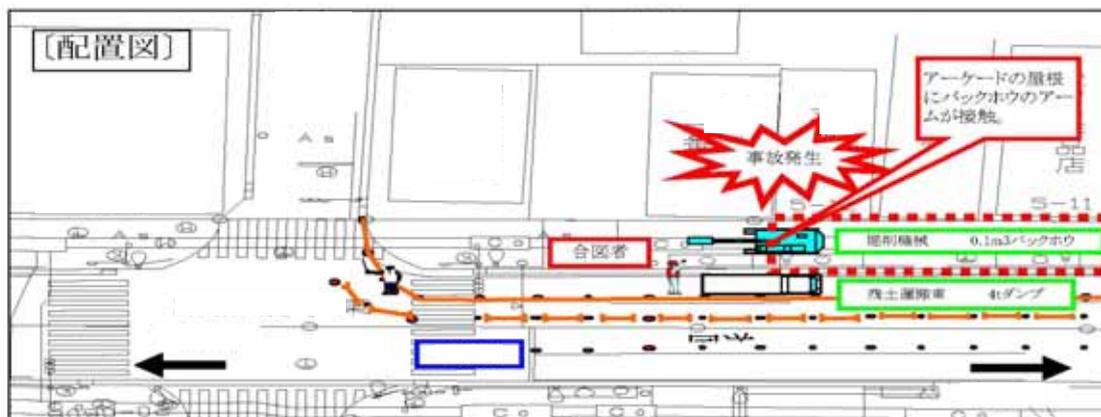
・作業床を操縦していた作業員が、照明器具を避けたと思い込んでいたため。

【事故防止のポイント】

・作業時の周辺状況の確認・徹底。
・専任の誘導者の配置。 など

発生日時	平成 22 年 6 月 6 日 (日)			0 時 18 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 As舗装工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	アーケード損傷		
事故概要	歩道の打換工のため、0.1m ³ バックホウにて路床掘削作業を行っていたところ、バックホウのアームにて、アーケード屋根端部に接触し損傷させたもの。					

事故発生状況



アーケード損傷状況

【事故発生原因】

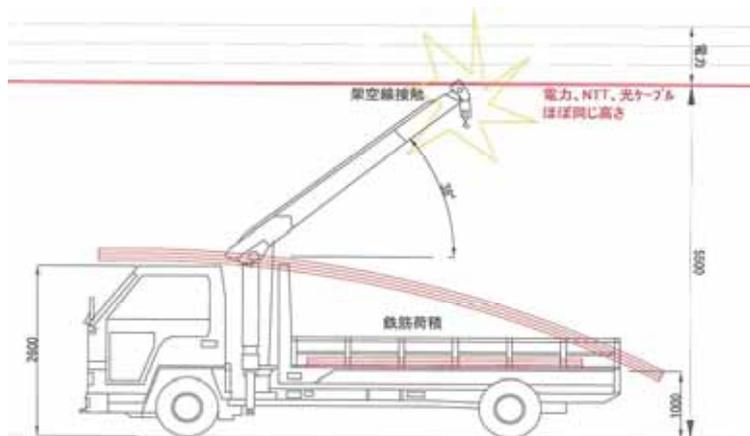
- ・作業範囲における上空支障物に対する目印表示が設置されておらず、注意喚起不足であったため。

【事故防止のポイント】

- ・上空支障物に注意が向くよう目印表示の設置。
- ・上空支障物の近接箇所における作業方法の周知徹底。 など

発生日時	平成 22年 6月 10日 (木) 4時 0分			天候	晴
工事情報	河川系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	架空線(東電、NTT、光ケーブル)切断	
事故概要	4トンユニック車に鉄筋を積んで運搬していたところ、ブームを下ろさなかったため架空線(東電線、NTT線、光ケーブル)を切断したものの。				

事故発生状況



切断状況

【事故発生原因】

- ・ブームを格納し忘れて走行したため。

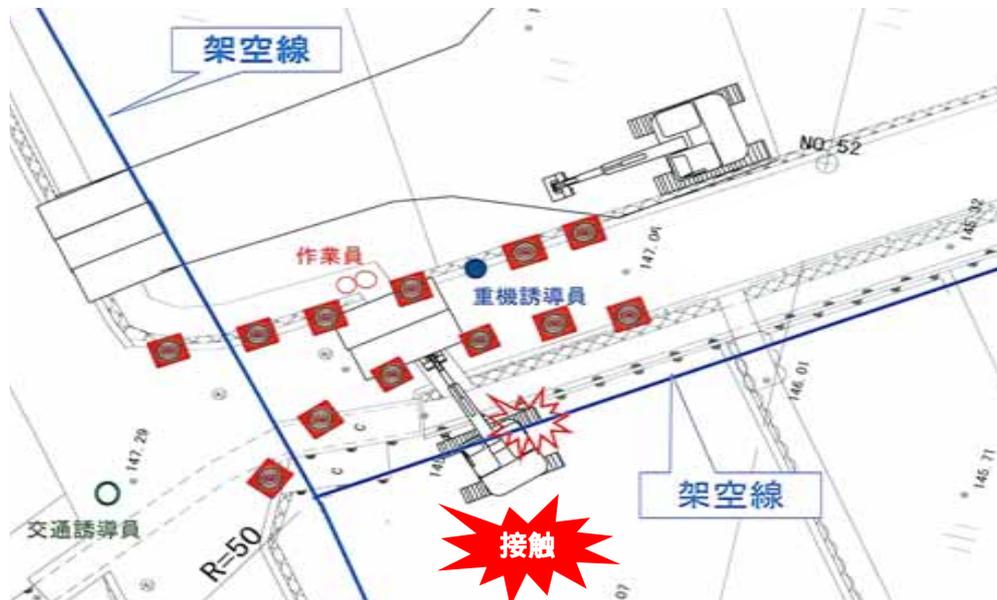
【事故防止のポイント】

- ・走行時は必ずブームを格納することについて作業員に周知・徹底する。
- ・架空線近接箇所における作業方法の周知徹底。

など

発生日時	平成 22年 7月 23日 (金) 15時 0分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	架空線(NTT線)切断	
事故概要	切廻し水路の基礎作業中にバックホウのバケットが架空線(NTT線)に接触し、切断したものを。				

事故発生状況



現場状況



損傷状況

【事故発生原因】

・オペレータに対して、架空線付近での作業方法の指導・徹底が不十分であったこと。

【事故防止のポイント】

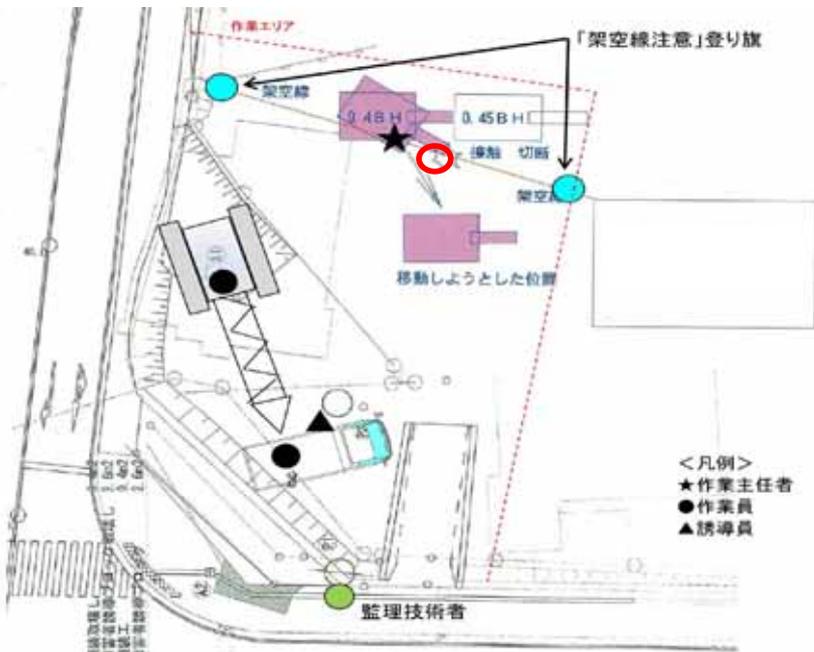
・架空線近接箇所における作業方法の周知徹底。
・合図等誘導方法の確認など

発生日時	平成 22年 9月 16日 (木) 12時 20分	天候	雨
工事情報	道路系事務所 維持修繕工事		
被災の状況	性別	年齢	職種
	-	-	-
事故概要	被災の程度		
	電話線切断		
事故概要	バックホウを移動する際に、ブームを上げたまま移動したため、電話線に接触し切断させたもの。 (被害: 1件)		

事故発生状況



- ・15tトラックにて運搬された杭打ち用資機材を作業現場に荷降ろしする作業をしていた。
- ・バックホウが荷降ろしに影響すると思い、移動させた。その際、バックホウのアームを上げたまま移動したため、電話線を切断した。
- ・機器の配置計画が十分に作成されておらず、予定外の作業であったため、主任技術者が一人で移動を行った。



【事故発生原因】
 ・機器の配置計画が不十分だったため。
 ・バックホウ移動時の周囲安全確認不足によるもの。

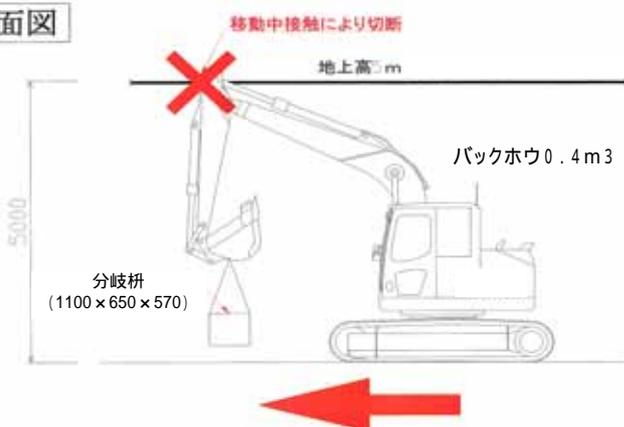
【事故防止のポイント】
 ・バックホウ移動時はアームを下げるこ
 と。
 ・バックホウの周囲安全確認について
 周知徹底。
 など

発生日時	平成 22年 11月 6日 (土) 23時 45分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 AS舗装工事				
被災の状況	性別	年齢	職種		
	-	-	-	車両感知器ケーブル損傷	
事故概要	バックホウにて分岐柵を吊り移動作業中、ブームを架空線に接触させ、ケーブルを損傷させたもの。				

事故発生状況



断面図



・拡幅歩道内における電線共同溝工において、分岐柵(1100×650×570)をバックホウで吊って移動する作業であった。

・バックホウ(0.1m3移動式クレーン仕様)を使用する計画になっていたが、実際は、別の用途に使用するバックホウ(0.4m3移動式クレーン仕様)を使用したため、ブーム先端部で地上高5mにあった車両感知器用ケーブルに接触し、切断した。

【事故発生原因】

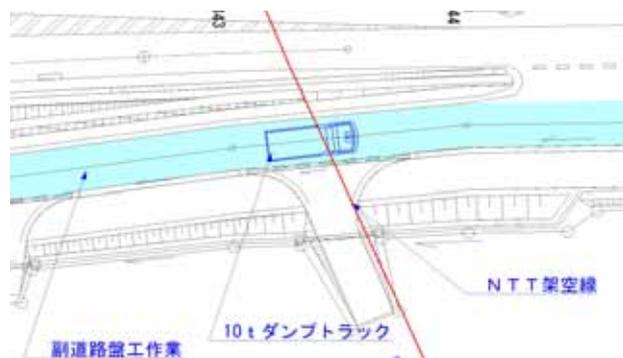
・架空線に対する注意喚起が不十分だったため。
・当日使用予定でなかった機械を使用したため。 など

【事故防止のポイント】

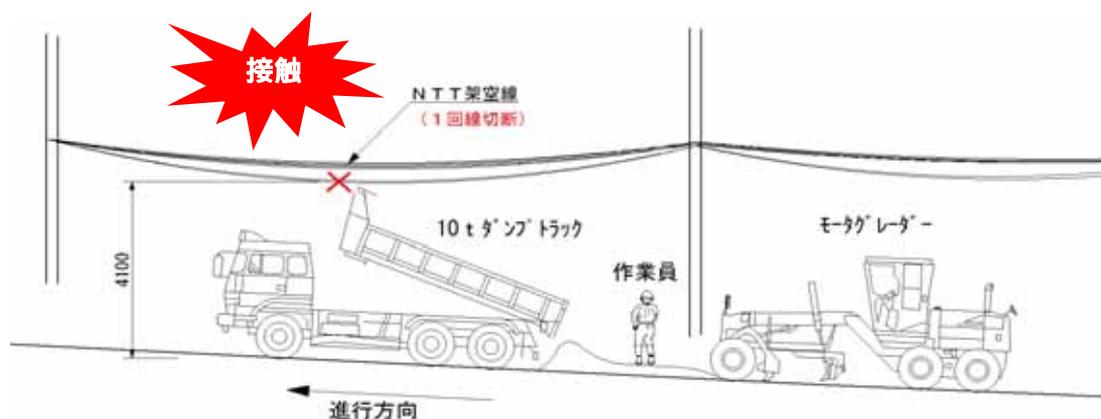
・架空線近接作業時の安全管理を周知・徹底する。
・当日の作業内容を作業員に周知・徹底する。 など

発生日時	平成 22年 11月 22日 (月) 11時 4分			天候	曇のち雨
工事情報	道路系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	NTT電話線切断	
事故概要	10tダンプトラックで路盤材を荷下ろし中、ダンプ前方荷台部がNTT電話線に接触し、損傷させたもの。				

事故発生状況



架空線切断状況



- ・路盤工を施工中に粒度調整砕石を10tダンプにて搬入。
- ・付近にいた作業員が架空線の接近に気付き、ダンプトラック運転手に「荷台を下げろ」と注意したが、「もっと前へ」と勘違いし急発進した。
- ・このため、荷台が架空線に接触し、1本切断した。

【事故発生原因】

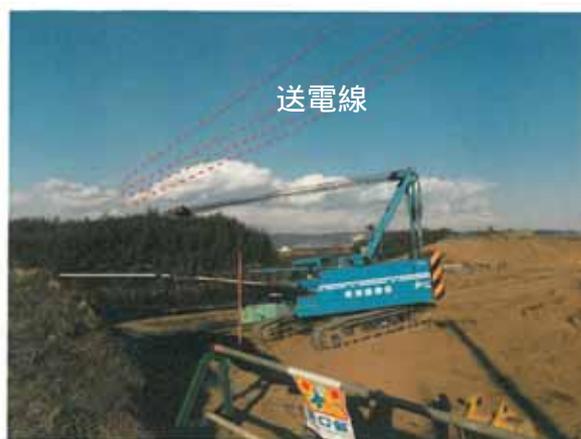
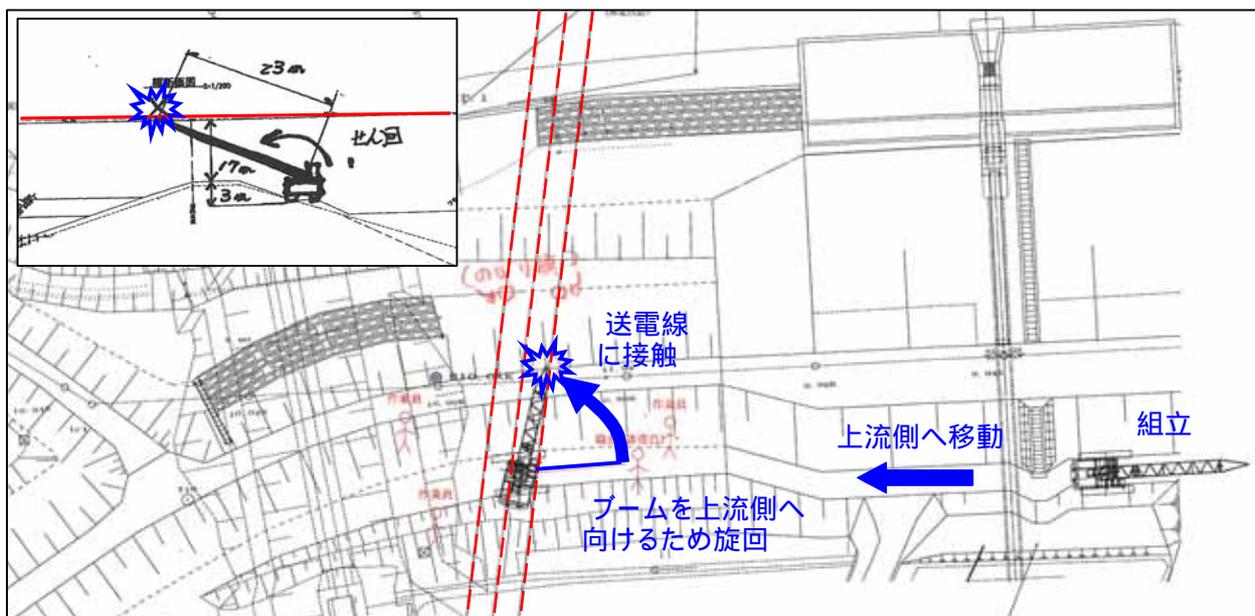
- ・架空線に対する注意喚起が不十分だったため。
- ・誘導方法の作業員への周知徹底不足。
など

【事故防止のポイント】

- ・架空線近接作業時の安全管理を周知・徹底する。
- ・誘導者の配置、及び合図等誘導方法の確認。
など

発生日時	平成 23 年 1 月 12 日 (水) 14 時 0 分			天候	晴
工事情報	河川系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	電線損傷及び送電停止(受電者への影響は無し)	
事故概要	鋼矢板打設作業の準備中、クローラークレーンを巡回させたところ、ブームが上空の送電線(高压線)に接触させて、電線の損傷及び一時的に送電を停止させたもの。				

事故発生状況



- ・施工箇所より300m下流の川裏側の平場でクローラークレーンを組立後、施工箇所まで自走にて移動。
- ・下流側に向けていたブームを上流側に向けてため、作業員4名を見張りとして配置し、うち1名が誘導にあたり旋回させることとした。
- ・旋回した際に、堤防天端の高さにあわせてブームを上げたため、上空の送電線に接触(接近)させたもの。(安全離隔距離として4m必要)

【事故発生原因】

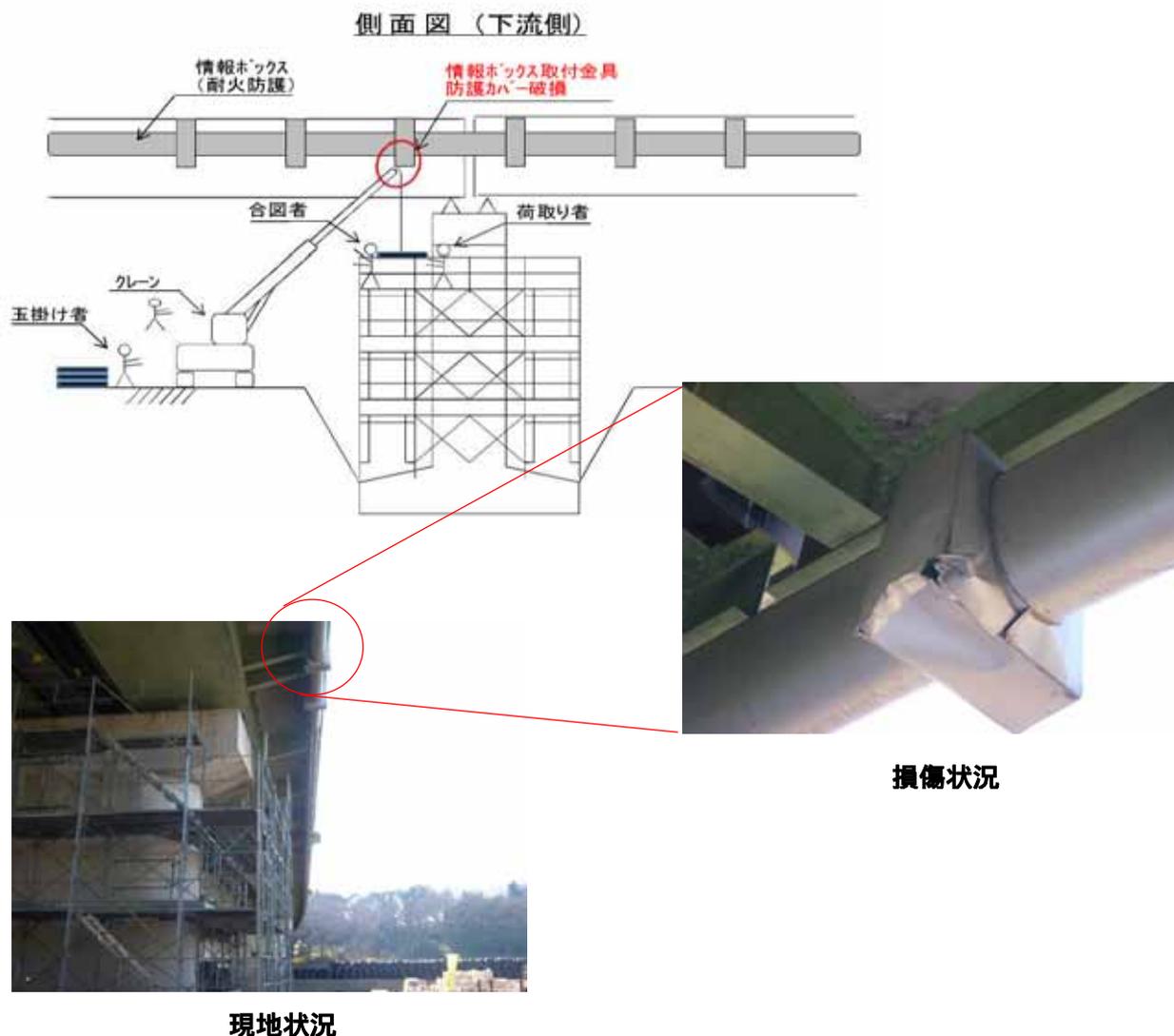
- ・高压線近接作業における制限事項について周知不足
- ・高压線からの安全離隔距離を確保するための対策を講じていなかった。
- ・旋回する際の周辺状況の確認が不十分であった。

【事故防止のポイント】

- ・架空線等の近接箇所における作業方法等の手順確認
- ・架空線位置や注意事項等の作業関係者への周知徹底
- ・安全離隔距離を確保するための目印表示設置 など

発生日時	平成 23年 2月 1日 (火)	9時 5分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 維持修繕工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	-	-	-	情報BOX取付金具防護カバー損傷
事故概要	足場仮設時、クレーンにて資材を吊り上げた際に、橋に添加されている情報ボックス取り付け金具の防護カバーに接触し、カバーを損傷させたもの。			

事故発生状況



【事故発生原因】

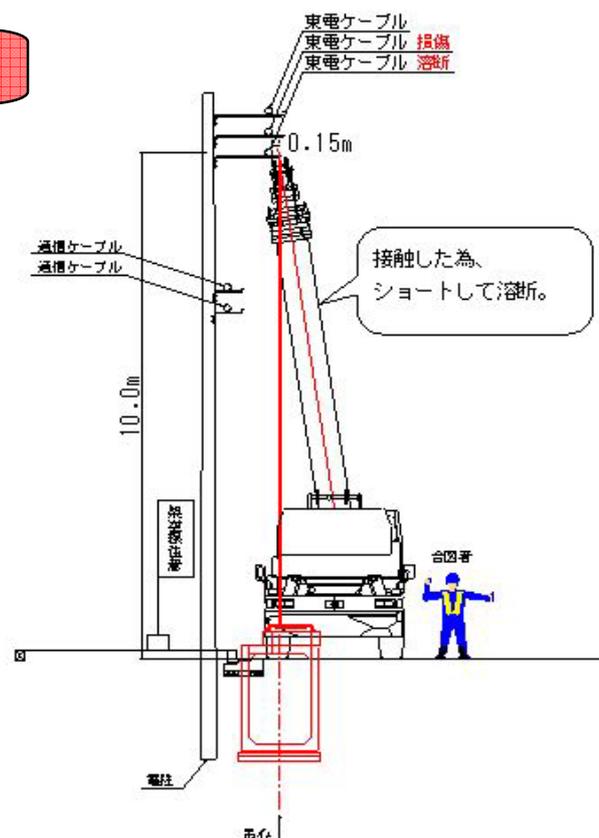
- ・上空制限箇所における接触に関する注意喚起不足。
- ・合図者とオペレータの間で誘導、合図方法の連携不足。 など

【事故防止のポイント】

- ・架空線や支障物等の近接箇所における作業時の注意事項について周知・徹底する。
- ・クレーン作業を緊急停止させる場合など、確実に伝わる方法で合図する。

発生日時	平成 23 年 2 月 10 日 (木)			3 時 0 分	天候	曇時々晴
工事情報	道路系事務所 As舗装工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	架空線1本切断、1本損傷(541世帯停電)		
事故概要	クレーンにて電線共同溝特殊部を設置中、架空線を切断したもの。					

事故発生状況



・電線共同溝の特殊部設置作業

・50tクレーンを使用し、3分割された特殊部の最後のブロックを吊降ろし、クレーンのブームを下げようとした時、電線が切れた。
(高圧ケーブルにクレーンが接触した為ショートし溶断したものと思われる)

・安全離隔距離として1.2m必要

【事故発生原因】

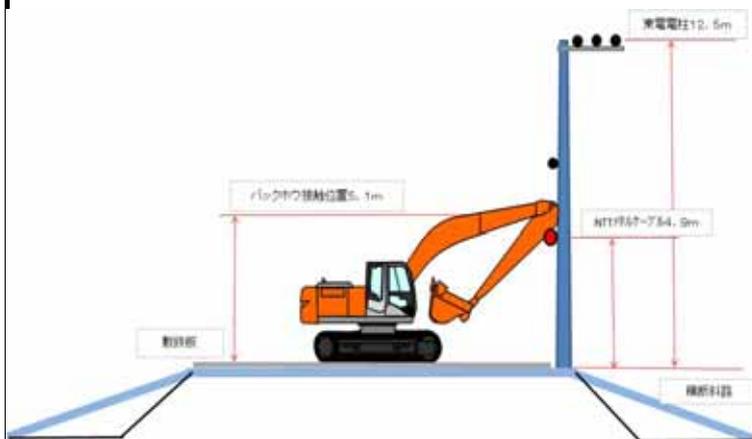
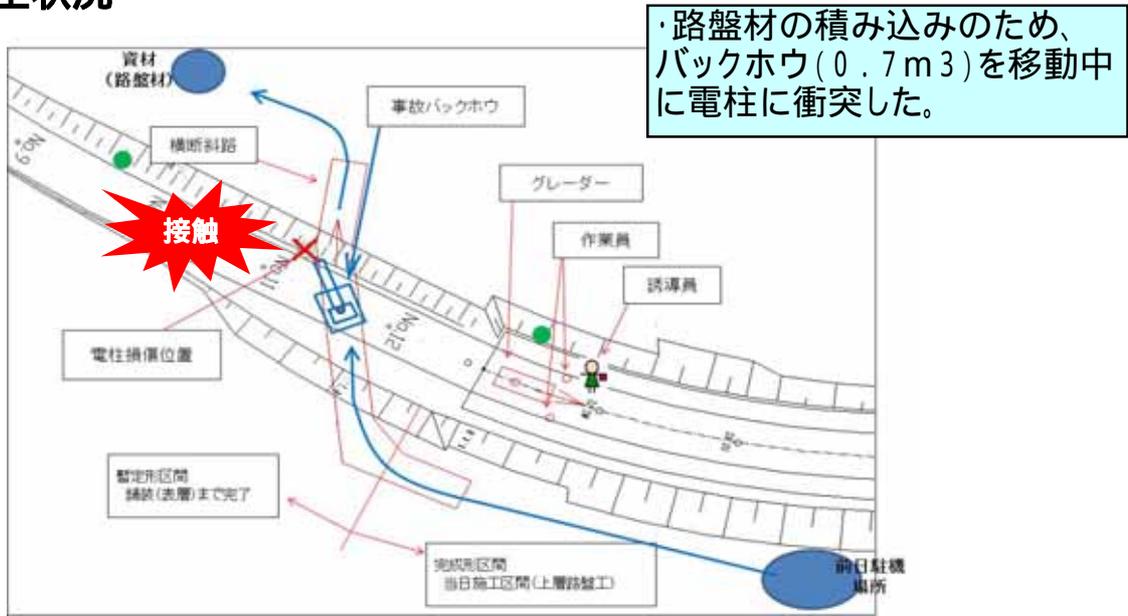
- ・高圧線近接作業における制限事項について周知不足。
- ・高圧線からの安全離隔距離を確保するための対策を講じていなかった。

【事故防止のポイント】

- ・架空線等の近接箇所における作業方法等の手順確認。
- ・架空線位置や注意事項等の作業関係者への周知徹底
- ・安全離隔距離を確保するための目印表示設置。
- ・接触のおそれのある高圧線には防護措置を講じる。 など

発生日時	平成 23年 2月 10日 (木) 8時 40分	天候	晴
工事情報	河川系事務所 一般土木工事		
被災の状況	性別	年齢	職種
	-	-	-
事故概要	バックホウを移動中、アームが電柱に衝突し、電柱を傾斜させてしまったもの。		

事故発生状況



損傷状況

【事故発生原因】

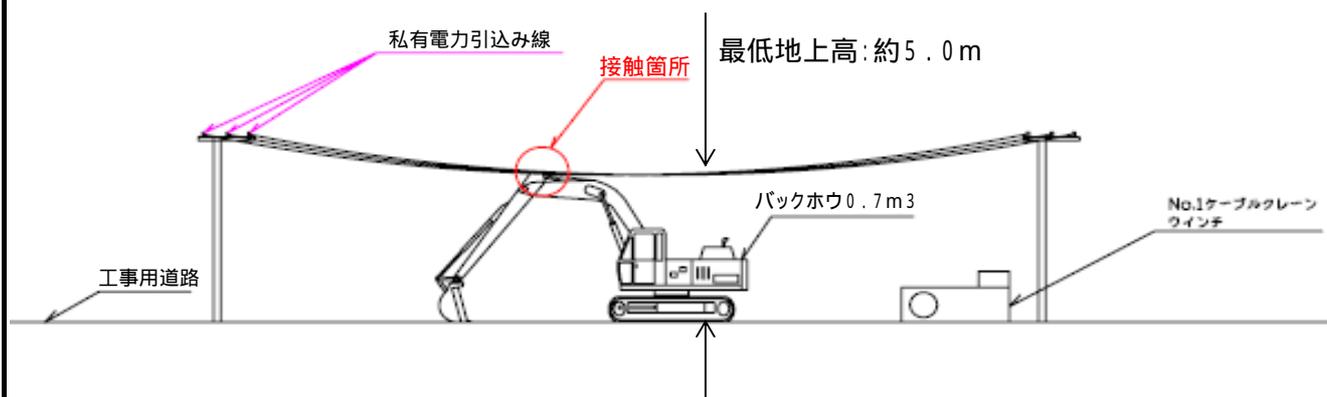
- ・支障物に対する注意喚起が不十分だったため。
- ・誘導員を配置せず、目印等を設置していなかったため。 など

【事故防止のポイント】

- ・支障物等の近接箇所における作業時の安全管理、注意事項を周知・徹底する。
- ・適切な誘導員の配置、及び合図等誘導方法の確認をする。
- ・現場状況にあわせた作業計画を立案し、作業内容を作業員に周知・徹底する。 など

発生日時	平成 23 年 2 月 14 日 (月)			9 時 20 分	天候	曇
工事情報	河川系事務所 法面処理工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	引込電線損傷 引込先で停電が発生		
事故概要	現場の除雪作業中、バックホウのブームが私有電力線に触れ、碍子から外れたもの。					

事故発生状況



・ケーブルクレーンウインチ小屋を設置する作業予定であった。

・ウインチ周辺には、約15cmの積雪があったため、バックホウ(0.7m3)にて除雪作業を行っていた。

・その際、上部の架空線(高圧)にバックホウのブームが接触し、3本の内2本が電柱部において碍子から外れてしまった。

【事故発生原因】

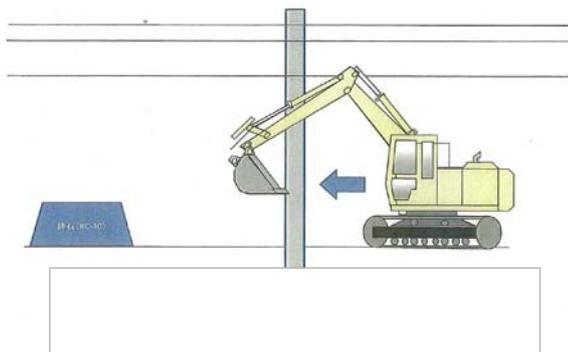
- ・架空線に対する注意喚起が不十分だったため。
- ・除雪に関する作業指示がなされておらず、単独で作業をおこなったため。 など

【事故防止のポイント】

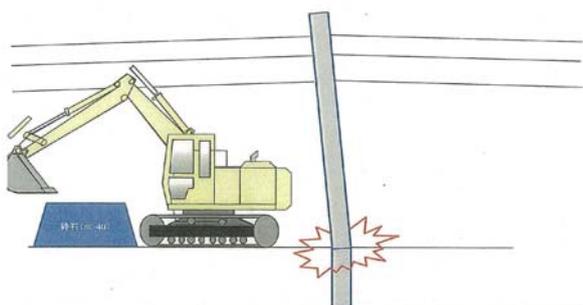
- ・架空線近接作業時の安全管理を周知・徹底する。
- ・誘導員の配置、及び合図等誘導方法の確認をする。
- ・現場状況にあわせた作業計画を立案し、作業内容を作業員に周知・徹底する。 など

発生日時	平成 23 年 3 月 15 日 (火)			10 時 45 分	天候	曇
工事情報	河川系事務所 法面処理工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	電柱損傷		
事故概要	バックホウを移動した際、アームで架空線を引っ掛け、電柱を傾倒させたもの。					

事故発生状況



現地状況



バックホウのブームで電線のための注意喚起のワイヤーを押上げて電柱を破損させた。



損傷状況

【事故発生原因】

・架空線等上空支障物に対する注意喚起が不十分だったため。 など

【事故防止のポイント】

・架空線や支障物等の近接箇所における作業時の注意事項について周知・徹底する。
 ・誘導者の配置、及び合図等誘導方法の確認。 など